

人類に奉仕するロータリー

Rotary Serving Humanity

平成28年7月27日 第2,378回 No. 2,136号

会長：宮澤 与一 ・ 幹事：鷺澤 幸一 ・ 会員サービス委員長：岩本 弘

E-mail：neast-rc@valley.ne.jp

URL：http://www.valley.ne.jp/~neast-rc/

《ゲスト紹介》

- 写真家 栗田 貞多男様

《ロータリーソング》

- 奉仕の理想

《会長報告》

- 皆様こんにちは、ようこそ今年度4回目の第2378回例会にお出掛けいただきありがとうございます。今週も引き続きロータリーについてお話ししたいと思います。

ロータリークラブ (Rotary Club) は、国際的な社会奉仕連合団体「国際ロータリー」のメンバーである単位クラブであります。その構成員のことをロータリアンと言います。最初のクラブが例会場所を輪番 (ローテーション) で提供しあったことから「ロータリー」の名がつけました。

<概要>

1905年、アメリカ・シカゴに最初のクラブが誕生。メンバーはクラブにおいて1業種1人が原則でありましたが、現在その縛りは緩められています。輪番・回転にちなみ、6本スポークの歯車がシンボルマーク (エンブレム) であります。

「国際ロータリー」は世界初の奉仕クラブ団体であり、200以上の国と地域に33,000近くのクラブを擁し、会員数は120万人以上であります。

職業奉仕 (会員の職業倫理を高めること) と、そこから広がる社会奉仕と国際親善を目的とします。基本的には「I serve: 私は奉仕する」、クラブとは「奉仕をするクラブ会員であるロータリアン個人の集まり」であり、国際

ロータリーはそのクラブの連合体とされているが、個人のみならずクラブ単位や国際ロータリーとしての奉仕プログラムも行われています。ロータリークラブ活動の特色として、各クラブごとに、独自の事務局を持ち自主独立運営が行われ、奉仕活動、寄付行為、会員の交流、友好事業等がなされています。

<日本>

1920年、当時三井銀行の重役であった米山梅吉等が、東京都に日本初のロータリークラブ (RC) を、国際ロータリーから855番目に認証を受けて創立しました。

東京 RC 創立の経緯はつぎのとおりであります。1918年に目賀田経済使節団の一員として訪米中の米山梅吉はダラス RC 在籍の福島喜三次と出会いロータリーについて聞き、ロータリーの例会に出席した米山梅吉は、ロータリーの利己のない奉仕の精神と行動に強い共感を持ち、日本でのロータリーの創立に動きました。元会員福島がロータリーの創立を希望していると知り、ダラス RC の会長は国際ロータリー会長に日本にロータリーの創立を勧める書簡を送りました。このあと、国際ロータリーは直接福島喜三次と日本におけるロータリーの創立に向けて交渉を重ね、1920年10月20日に創立総会が開催され1921年4月1日に承認が下りました。東京 RC の創立にあたってダラス RC は国際ロータリーへの橋渡しを行ってくれましたが、東京 RC は国際ロータリー直轄のクラブであり、スポンサーがダラス RC という事実はなく、承認状を見てもスポンサークラブの記載はありません。日本で第2番目に認証を受けた大阪 RC も国際ロータリー (RI) 直轄で出来たクラブでありま

す。ダラス RC 会員であった福島喜三次が帰国後大阪に赴任し、星野行則とともに 1921 年（大正 10 年）大阪にロータリークラブを作り 1922 年（大正 11 年）春、同年 11 月 1 日第一回の創立準備会を中之島大阪ホテルにて開催しました。その後チャーターメンバーを選び、クラブ細則原案を作り、1922 年（大正 11 年）11 月 17 日に大阪 RC 創立総会を開きました。

関東大震災を契機として、日本のロータリー運動は本格的になっていきました、1924 年（大正 13 年）7 月に東京 RC を立ち上げた米山が初代のスペシャル・コミッショナーに任命されます。第 2 代が井坂孝、第 3 代が平生鈺三郎です。この 3 名の指導のもとに、次々と RC が日本の大都市に設立されていきました。東京・大阪に続いて、1924 年（大正 13 年）8 月に 3 番目の神戸 RC が 8 月に設立されました。スポンサークラブは大阪 RC でありました。続いて東京 RC がスポンサーで、1924 年 12 月に 4 番目の名古屋 RC が設立されます。さらに東京・大阪両クラブの共同スポンサーによって 5 番目の京都 RC が設立され、6 番目に横浜 RC が設立されました。六大都市にロータリーが設立され、その後日本全国に RC が次々に拡大していきました。第二次世界大戦による中断があったものの、戦後会員を拡大し世界第 2 のロータリー国となりましたが、近年に至り経済情勢の変化さらに震災等の影響から、会員数は減少傾向にあります。

クラブ数 2,287、会員数 88,328 人（2014 年 12 月末・ロータリー公式誌による）。日本は 3 ゾーン編成で、34 の地区に分かれています。そのうちの 1 地区にはミクロネシア、グアム、北マリアナ諸島、パラオという海外の地域も含まれています。

本日はロータリークラブの概要、日本ロータリークラブ設立についてお話をしました。

次回は、行動基準、ロータリーの理念、著名会員のお話をしたいと思います。ご清聴ありがとうございました。

《幹事報告》

- 本日、地区大会のパンフレットをお配りしました。近々ご案内をお送りしますので、大勢の皆様のご出席をお願いいたします。10 月 16 日（日）開催です。ホテル国際 21 発着の送迎バスをご用意しておりますので、よろしく願います。

○ 例会変更のお知らせ

- 上田 RC 8 月 15 日（月）お盆につき休会いたします。
*定刻受付はいたしません。
8 月 29 日（月）納涼会の為、時間を変更いたします。
*定刻受付をいたします。

《出席報告》

本日	出席	欠席	出席率
会員数 56名	29名	27名	51.78%
前々回 7月13日		訂正出席率	100.00%

《ニコニコボックス》

早退：藤原 秀明君、関口 浪男君
渡辺 宏幸君

- 小・中学生も夏休みに入りました。楽しい夏休み、交通安全に皆様ご注意ください。
佐藤 忠幸君
- 入会御礼。よろしく願いいたします。
岩崎 佳人君

《委員会報告》

- 創立 50 周年記念事業 実行委員会
田中 清一事務局長

本日、皆さんに「長野東ロータリークラブ創立 50 周年記念事業 実行委員会 構成」を配布いたしました。

クラブ会長宮澤与一君、実行委員長原徹爾君、以下、記載のとおりです。役職、部会の構成につきましては、40 周年の実行委員会を参考にしました。配属につきましては今年度の委員会を参考に配属させていただきました。何分、ご理解とご協力をよろしく願います。

昨年度の準備委員会で大まかな事業の日程も決まっております。来週には皆様にお知らせできるかと思えます。物故者法要が 9 月 16 日（金）、式典が 9 月 17 日（土）、旅行は 10 月 25・26 日となっております。

特別事業につきましては、現在鷺澤幹事の方で市と連絡を取っていただいております。法要・式典祝賀会のスケジュールにつきましても来週ご案内できるかと思えます。

何分日程が迫っておりますので、実行委員長中心に部会長の方で決定してしまう事項も多いかと存じますが、ご理解の程お願いいたします。また、40 周年時に比べますと、会員人数が減っております。全員参加・全体事業というご認識で皆様のご協力をよろしく願います。

《本日のプログラム》

- 紹介倉石プログラム担当
- ゲスト卓話
写真家 栗田 貞多男様
「北陸新幹線沿線と百名山」



《8月3日のプログラム》

- クラブアッセンブリー
- クラブフォーラム

《8月3日のメニュー》

- 和定食
 - ・天ぷら
 - ・茶碗蒸し
 - ・にぎり寿司
 - ・冷麦
 - ・季節の果物

＝次週例会予告＝

《8月10日のプログラム》

- ゲスト卓話
日本野鳥の会長野支部幹事
長福寺副住職 小宮山 義光様

《8月10日のメニュー》

- 洋コース
 - ・小エビと米豚の生春巻き
 - ・ブラジルのビーフシチュー “ピカジーニョ”
 - ・マンゴーラッシー
 - ・パン
 - ・コーヒー